

2 目標達成計画

事業所名：グループホームおからぎ

作成日：平成26年6月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議がマンネリ化する可能性があり、定期的な交代、臨時の委員会の招へい、計画的なテーマ設定など、ホームの改善助言、ホームの役割、機能を活かした地域との交流促進の話し合いをする必要がある。	運営推進会議の内容をサービス提供に活かすことができる。	運営推進会議委員の方をテーマごとに多少多く招へいすることにより、グループホームのサービス運営に関する意見が聞ける環境を作る。	9 か月
2	33	今後としては入居者の長期化等から重度化及び終末期への対応の要請が高まると考えられることから、看取り対応指針等を定め、職員の対応学習を高め、かかりつけ医・協力医との連携を深め今後の対応を検討する必要がある。	重度化に対応する介護技術の学習を行うことにより、重度化の予防と終末期の対応に応える。	ターミナル研修への職員の派遣と周知を図る。また、重度化への対応を個別に検討をする。	9 か月
3	35	夜間時の対応を課題としており、日頃の火災発生予防の徹底、避難マニュアルの習熟、夜間想定 of 定期訓練、出火場所の異なる職員のシュミレーション訓練、運営推進会議での協力依頼など、様々な観点から検討する必要がある。	夜間の緊急時の対応を訓練し、対応できるようになる。	夜間の避難マニュアルを再度読み合わせし、定期的に避難誘導訓練をし、実際に動くことができるようにする。	6 か月
4					か月
5					か月